

# 令和7年度 今津中学校中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

## 1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 「中学生チャレンジテスト」の調査の目的

- (1) 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。  
加えて、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学者選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
- (2) 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- (3) 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
- (4) 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。

## 1 全国学力・学習状況調査

※中学校理科はICT端末等を用いた、文部科学省CBTシステム（MEXCBT）によるオンライン方式（以下、「CBT」【=Computer Based Testing】とする）で実施。

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均正答率(%)		平均無解答率(%)			平均IRTスコア
			国語	数学	国語	数学		理科
3 年	学校	209	52	43	8.7	14.2	学校	482
	大阪市	—	52	46	6.8	11.2	大阪市	489
4月17日	全国	—	54.3	48.3	6.7	10.6	全国	503

※IRTとは、国際的な学力調査等で採用されているテスト理論です。

この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較することができます。

※IRTスコアとはIRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。

## 2 中学生チャレンジテスト

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均点(点)					平均無解答率(%)				
			国語	社会	数学	理科※	英語	国語	社会	数学	理科※	英語
3 年	学校	215	64.2	50.8	51.1	44.1	53.9	6.6	6.9	13.6	10.2	7.1
	大阪市	—										
	大阪府	—	64.2	51.2	53.9	46.0	53.2	6.8	6.5	12.1	11.0	7.4

※ 3年生の理科はB問題を選択

令和7年度 今津中学校中学校のあゆみ  
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

【成果と課題】

○全国学力・学習状況調査結果

＜国語＞ 全国と比較して、平均正答率は-2.3ポイントであった。問題別では、文脈に即して漢字を正しく使えるかの正答率は全国と比較して、+1.1ポイントであった。また、読み手の立場に立って、表記を確かめて、文章を整えることができるかの正答率は全国と比較して、+2.6ポイントであった。領域別では、「話すこと・聞くこと」は-3.0ポイント、「書くこと」の領域は-2.7ポイント、「読むこと」の領域は-2.8ポイントであった。今後の課題である。

＜数学＞ 全国と比較して、平均正答率は-5.3ポイントであった。すべての領域で平均正答率は下回っているが、特に「データの活用」の領域において-8.8ポイントと最大であった。生徒質問紙からも苦手意識を持っている生徒が多いようである。

＜理科＞ 全国と比較して、平均IRTスコアは-21ポイントであった。IRTバンド2の割合が+10.6ポイントであった。大阪市と比較しても+7.0ポイントであった。IRTバンド3・4・5はポイントが下なので、そこが課題である。

〈生徒質問紙〉

「朝食を毎日食べていますか。」の質問では「している」は全国と比較して、0.2ポイントほどの差でほぼ同じであった。「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか。」の質問では「当てはまる」は全国と比較して、+2.7ポイントで、意識は高いように思われる。「人の役に立つ人間になりたいと思いますか。」の質問では「当てはまる」は全国と比較して、+0.2ポイントであった。一方学習面では、休みの時に自学自習の時間が全国に比べて短いので、その点は課題である。

○中学生チャレンジテスト(3年生)

＜成果＞

平均点は大阪府と比較して、英語は+0.7ポイント、国語は±0ポイントで無解答率は0.2ポイント下で本校としてはわずかであるが、積極的に解答しているということである。社会は-0.4ポイント、数学は-2.8ポイント、理科は-1.9ポイントであった。

＜課題＞

英語科において、大阪府の平均点と比較して、「聞くこと」「読むこと」においてはポイントを上回っていたが、「書くこと」は平均と同じであった。

国語科において、学習指導要領の内容別平均点で見ると、大阪府と比較して「我が国の言語文化に関する事項」は0.1ポイント上回っていたが、「情報の扱い方に関する事項」「話すこと・聞くこと」「書くこと」は下回る結果であった。

社会科において、観点別平均点で見ると、大阪府と比較して、「知識・技能」は1.5ポイント上回っていたが、「思考・判断・表現」は下回る結果であった。

数学科において、領域別でも観点別でも大阪府と比較して全体的に下回る結果であった。

理科において、領域別では「エネルギー」の分野は、大阪府と比較して変わらないが、それ以外の分野は下回る結果であった。

5教科を通して、理数系がやや苦手の傾向であり、課題が見られた。

【今後に向けて】

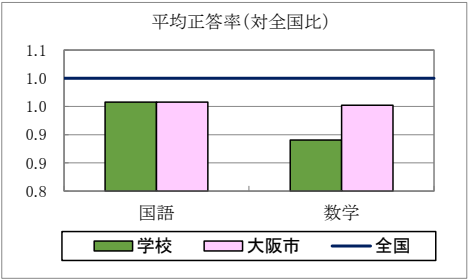
主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に努め、特にICT機器を有効に活用した指導方法の充実を図る。また、自分の考えを整理したり、組み立てたりして、自分の考えを表現できる力をつけていく。また基礎・基本的な学習内容の定着を徹底する。

令和7年度 今津中学校中学校のあゆみ  
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

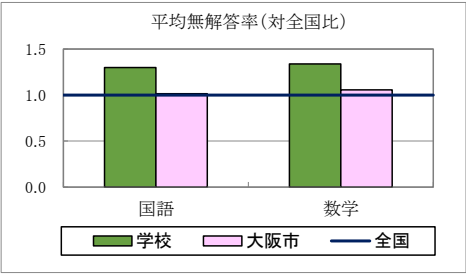
全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【 全 体 】

	平均正答率(%)	
	国語	数学
学校	52	43
大阪市	52	46
全国	54.3	48.3

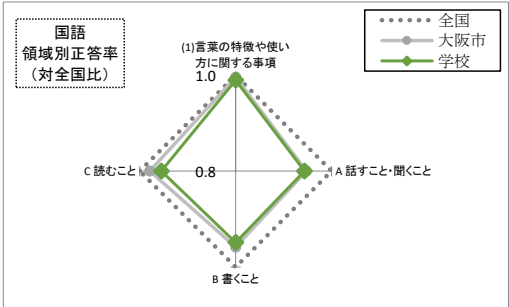
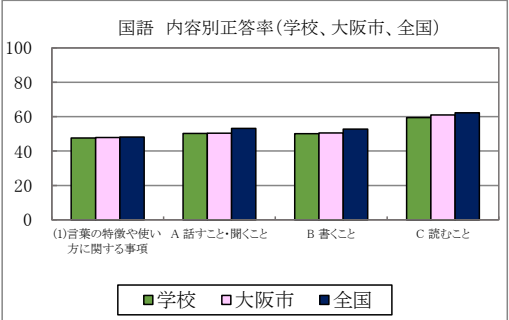


平均無解答率(%)	
国語	数学
8.7	14.2
6.8	11.2
6.7	10.6



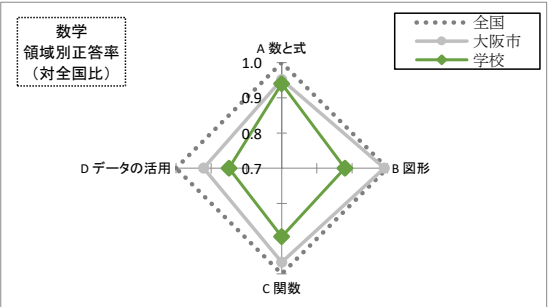
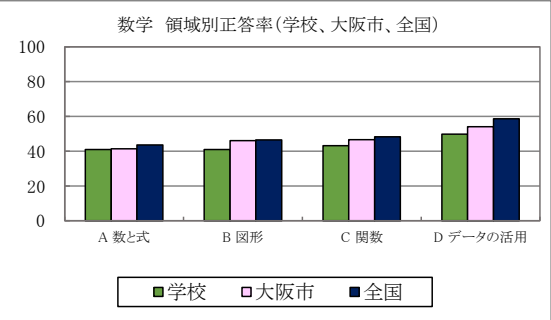
【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に關する事項	2	47.6	47.9	48.1
(2)情報の扱い方に關する事項	0			
(3)我が国の言語文化に關する事項	0			
A 話すこと・聞くこと	4	50.2	50.4	53.2
B 書くこと	5	50.1	50.6	52.8
C 読むこと	3	59.5	61.0	62.3



【 数 学 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	40.9	41.4	43.5
B 図形	4	40.9	46.1	46.5
C 関数	3	43.1	46.6	48.2
D データの活用	3	49.8	54.0	58.6

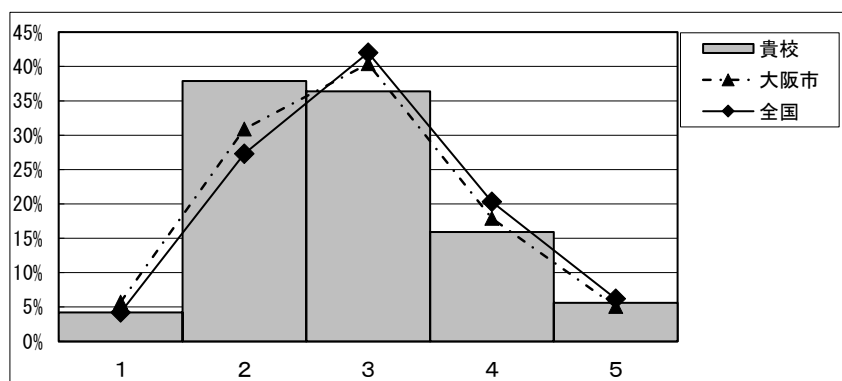
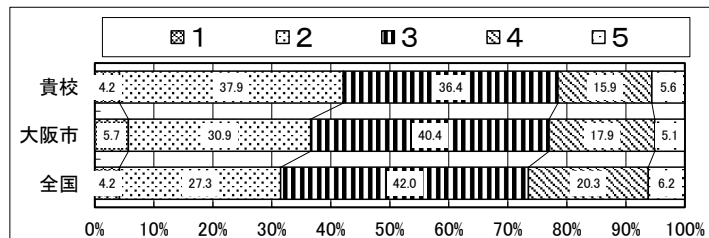


令和7年度 今津中学校中学校のあゆみ  
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【理 科】

	平均IRTスコア
学校	482
大阪市	489
全国	503



# 令和7年度 今津中学校中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

## 生徒質問より

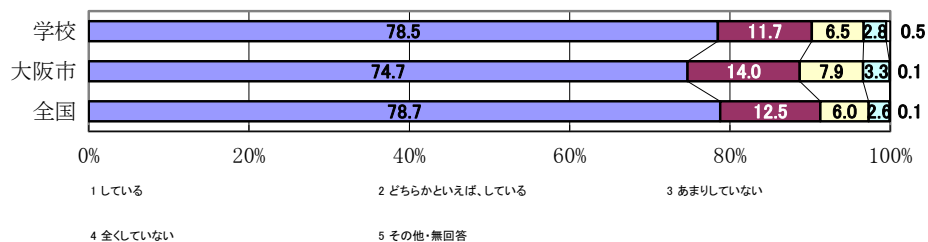
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

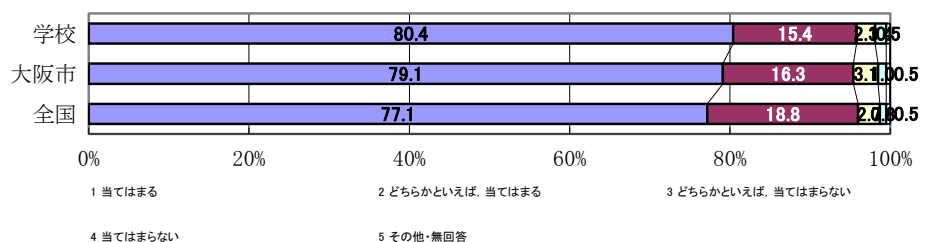
1

朝食を毎日食べていますか



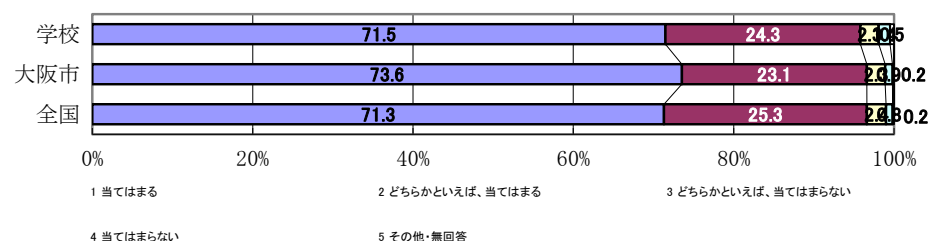
9

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



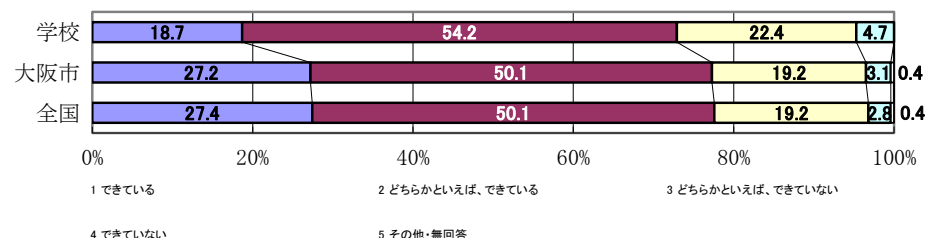
11

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



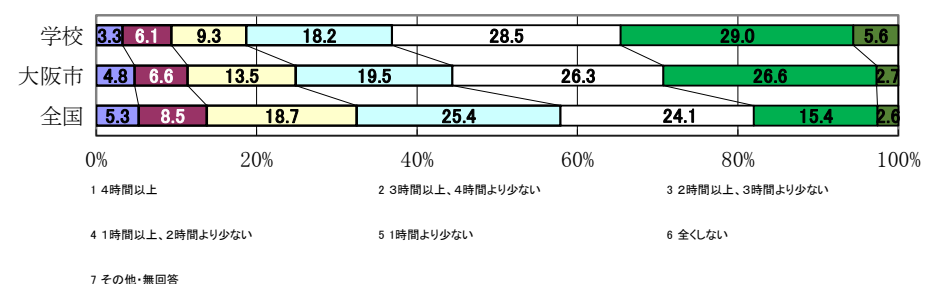
16

分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか



19

土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



# 令和7年度 今津中学校中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

## 学校質問より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

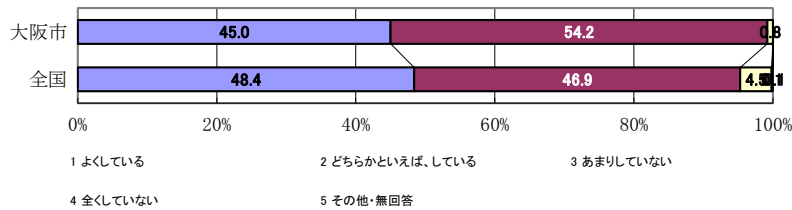
質問番号

質問事項

18

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

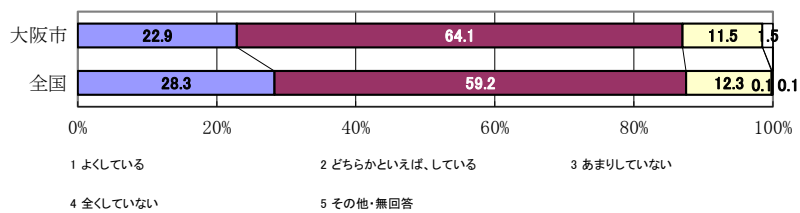
学校 「よくしている」を選択



19

個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか(オンラインでの参加を含む)

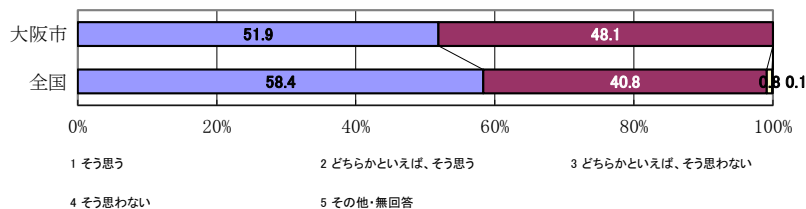
学校 「どちらかといえば、している」を選択



21

学校運営上の課題への対応に当たっては、各教職員(支援スタッフを含む)の専門性を活かせるよう適切な役割分担や連携協働をしていますか

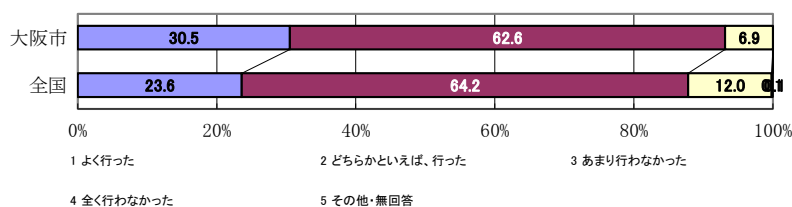
学校 「そう思う」を選択



30

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学習指導において、生徒一人一人に応じて、学習課題や活動を工夫しましたか

学校 「よく行った」を選択



66

生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか

学校 「毎日持ち帰って、毎日利用させている」を選択

